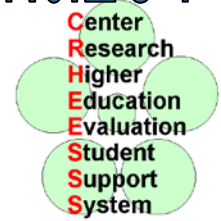


週刊センターニュース No.264



第264号（2009年6月22日）毎週月曜日発行
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

〇〇〇 第235回共同学習会のご案内 〇〇〇

日時：6月25日（木）16時30分～18時

会場：角間キャンパス総合教育1号館1号館2階 会議室

報告者：松並知子、糸野妙子（男女共同参画キャリアデザインラボラトリー）

テーマ：「男女共同参画キャリアデザインラボラトリー活動紹介～女性研究者支援プログラム概要～」

趣旨：本学は平成20年度から3年間、文部科学省科学技術振興調整費＜女性研究者支援モデル育成＞に採択され、「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」プログラムを進めている。本プログラムは、女性が積極的に研究を継続し、成果を上げることができるよう環境を整備することや、次世代の女性研究者を魅了し育成することを目的としている。プログラムの実施にあたり、昨年10月に男女共同参画キャリアデザインラボラトリーが設置された。

本プログラムの目的や事業内容、および、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーの活動内容について具体的に説明することにより、教職員の方々の認知と理解を深めたい。また、この機会に、本事業や当ラボに対する皆様のご意見やアドバイスをいただきたい。

〇〇〇 第12回大学評価研究会のご案内 〇〇〇

日時：6月30日（火） 15時30分～17時 ※開催曜日にご注意ください。

会場：角間キャンパス 総合教育1号館2階会議室

テーマ：「昨今の高等教育政策の動向とSD機能強化の方向性」

報告者：早田 幸政氏（大阪大学 大学教育実践センター教授）

趣旨：中教審「学士課程教育の構築に向けて（答申）」を受けて、大学改革は、新たな段階に突入しようとしている。大学教育の質保証の仕組みは、設置認可行政と認証評価との連結を図るという視点から、抜本的な改変が模索されている。大学教育の基本を「学位プログラム」中心の考え方に転換するという観点から、学部制度や教員組織の在り方に対してもドラスティックな見直しの兆候がうかがえる。こうした大学を取り巻く制度・環境の大きな変化が予兆される中、大学職員への期待も高まりつつあり、この問題に対し、上記答申も、注目すべき提言を行った。本報告では、将来に亘る大学マネジメントの重要性が説かれる昨今の状況を認識の基礎に、SD機能強化の方向性についても言及したい。

〇〇〇 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー活動紹介 〇〇〇

本学は、平成20年度から3年間、文部科学省科学技術振興調整費＜女性研究者支援モデル育成＞に採択され、「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」プログラムを進めている。本プログラムは、女性研究者支援策を積極的に展開し、女性研究者数、女性リーダーを増やすとともに、女性が生き生きと活躍できる男女共同参画を実現する支援モデルの開発、研究環境・制度の整備、および、啓発・広報活動を行うものである。事業の実施にあたり、平成20年10月に男女共同参画キャリアデザインラボラトリーが設置された。

1. 女性研究者数

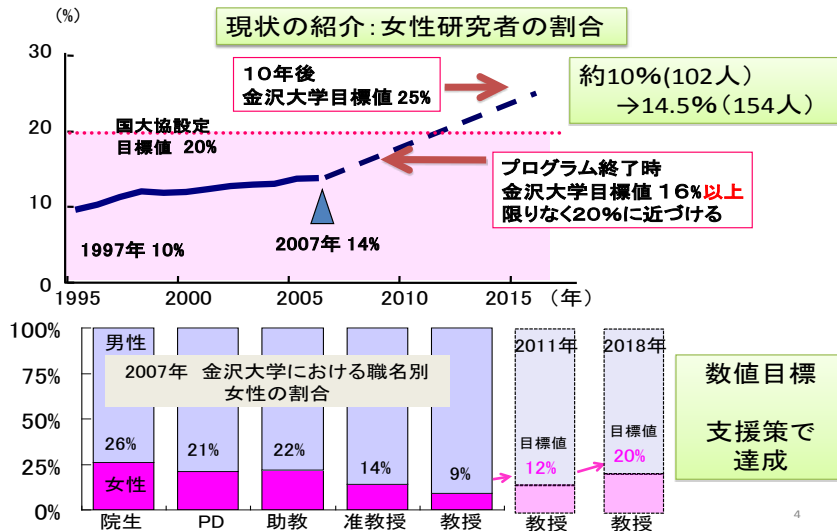
最近約10年間における金沢大学の女性研究者数は約10%（102人）から14.5%（154人）と微増傾向にある。しかし、職階別では、平成19年度時点、博士後期課程大学院学生（26%）に比べ、助

教（22%）、教授（9%）と職階を追う毎に割合は低くなり、採用・昇任の際に、女性にとって越えがたい障壁が生じていることが考えられる。また分野別では、理工系研究者が6.7%と他分野と比べ際立って少ない。本事業実施期間終了時における具体的な数値目標は以下の通りである。

①女性研究者数を現在より10人程度増やし、全体の割合を約16%にまで上昇させる。

②理工系女性研究者数を8%に増加させる。

③助教・准教授の昇格を増やし、教授職の女性の割合を12%とする。



2. 具体的な取り組み

①人材サロン WIL (Women-in-Link) の運営

- ・金沢大学人材バンクの作成・運営

目的：育児・介護休業取得に際しての人材の補充、研究パートナー（女性研究者へのサポートング・スタッフ）の派遣、小中高校への出前実験のために講師・スタッフの募集、イベントのスタッフやボランティアの募集

- ・各種セミナーやキャリアカウンセリングの実施
- ・女性向け・ジェンダー関連書籍やDVDの貸出
- ・情報交換の場の提供

②広報・啓発活動

- ・ジェンダー関連講義の実施（「理系のジェンダー学」「ジェンダー学実践編」公開講座）
- ・講演会・研究会・イベントの実施
- ・ホームページの作成・運営
- ・教職員対象の意識調査
- ・女子中高生を主な対象とした理系進路選択支援

③職場環境・制度の整備

- ・里山活動を利用した保育支援「里山 KIDS ROOM」の運営
- ・育児・介護休業の取得が容易になるプランの構築

④多様なキャリアパスの創出

- ・研究パートナー制度：育児・介護等に多忙な女性研究者に対し、研究の補助を行う研究パートナーを派遣している。研究者の卵であるパートナーは、女性研究者をロールモデルとすることができるため、研究者・パートナー双方にとっての支援となっている。
- ・Skilled Specialist (SS)：従来のカテゴリーに入らない安定的な研究者ポストとして、分析やデータ解析等のスペシャリストである博士学位取得者を2名、採用した。

以上のように、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーの活動は多岐にわたっているが、いずれの活動も教職員の方々のご意見やアドバイス、ご協力なくしては実現できないものなので、ぜひとも皆様の力を貸していただきたい。皆様のご期待に添えるよう、スタッフ一同、精一杯努力する所存である。

ラボラトリー長 八重澤美知子、プロジェクトオフィサー 松並知子・糸野妙子

電話：076-234-6905～7 FAX：076-234-6908

E-Mail：cd_lab@ad.kanazawa-u.ac.jp、ホームページ：<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

場所：角間キャンパス南地区の自然科学本館1階、191号室（自然科学系図書館付近）